

日本教育大学協会がシンポジウム「今後の教員養成の在り方について」を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は8月6日（火）、日本教育大学協会シンポジウム「今後の教員養成の在り方について～教員養成フラッグシップ大学からの報告～」をオンラインにより開催し、会員大学・学部の構成員をはじめ教育委員会、報道関係者など200名超が参加した。

今回のシンポジウムは、教員養成フラッグシップ大学に指定された4大学（福井大学・大阪教育大学・兵庫教育大学・東京学芸大学）が前回の令和4年8月にそれぞれの構想や今後の展望等を発表したシンポジウムから2年が経過した中で、これまでの取り組みを発表し、その内容を共有することを目的として実施された。

冒頭、國分会長の開会挨拶の後、後藤教至文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長から「今後の教員養成改革に向けて」と題して講演があった。

その後、福井大学からは松木健一理事・副学長、澁谷政子教育学部長、木村優連合教職開発研究科長、大阪教育大学からは峯明秀理事・副学長、兵庫教育大学からは吉水裕也兵理事・副学長、東京学芸大学からは佐々木幸寿理事・副学長から発表があった。

また、今回は各大学の取り組みをステークホルダーの立場として、福井大学は富田雅人氏（福井県教育総合研究所教職研修センター長）、大阪教育大学はアンドリュー・ガン氏（ケニス株式会社みらい科学教育創造センター長）、向井篤弘氏（NPO法人コンソーシアムTIES事務局長）、菅田直之氏（レノボ・ジャパン合同会社エンタープライズ事業部教育ビジネス開発部）、兵庫教育大学は山本雅史氏（株式会社アワーズ代表取締役）、東京学芸大学はハーン里菜氏（東京学芸大学学部生）から発言があった。

最後に日本教育大学協会の野田敦敬理事（愛知教育大学長）から講評があった。

各大学からの発表や意見交換を通し、教員養成フラッグシップ大学を中心とした国立教員養成大学・学部が期待されている役割について認識を深める有意義なシンポジウムとなった。



國分会長



後藤課長



松木健一(福井大学)

松木福井大学理事・副学長



福井大学教育学部澁谷政子

澁谷福井大学教育学部長



福井大学_木村優

木村福井大学連合教職開発研究科長



大教大_経営戦略課

峯大阪教育大学理事・副学長



吉水 裕也(兵庫教育大学)

吉水兵庫教育大学理事・副学長



東京学芸大学@佐々木幸寿

佐々木東京学芸大学理事・副学長